

アラビア文字を読み書きする際の注意として、以下の決まりをおぼえておきましょう。

●右から左へ向かって読み・書く

アラビア語は右から左に向かって読み書きします。

كِتَابٌ ← アラビア語 転写・日本語 → kitābun (本)

●文字には4つの形がある

アラビア語の語句は文字をつなげて書かれるため、単独で書く時の「独立形」の他、語内の位置によって、後ろ(左)の文字とつながる「語頭形」・前後(右左)の文字とつながる「語中形」・前(右)の文字とつながる「語末形」が使われます。

ب	ب	ب	ب	بب
独立形	語末形	語中形	語頭形	接続した文字

●6つの文字は、後ろ(左)の文字とつながらない

以下の6文字は、後続の文字(左側の文字)と接続しません。これらの文字の語中形と語末形は同じ形になります。また後続の文字には語頭形を使います。

ا	د	ذ	ر	ز	و	وردة 例
アリフ	ダール	ザール	ラー	ザイ	ワーウ	

●アリフ

アリフには音価がありません。長母音 [ā] の表記、名詞の不定対格を表すタンウィーン [-an] の添え字、◌ [ハムザ] の支え、動詞複数形の語尾などに使われます。

例	بَا	بَا	أَأُ	كَتَبُوا
	長母音 [ā]	タンウィーン [an]	ハムザの支え	動詞複数形語尾

●ラーム・アリフの書き方

◌ [ラーム] の後に ◌ [アリフ] が続く場合、二通りの書き方があります。

①前の文字と接続しない → لا ولاية ②前の文字と接続する → سلام

●ター・マルブータ

◌ [ター・マルブータ] は ◌ [ハー] に2点をつけた文字で、名詞の語末にのみ現れます。[t] の音価をもち、直前の母音と合せて [-at] [-āt] と発音されますが、文末などの休止部分ではこの[t] は発音されず、[-a] [-ah] となります。主に女性語尾を示します。

جَرِيدَةٌ jarīdatun / jarīda فِتَاةٌ fatātun / fatāh

●ハムザ

◌ [ハムザ] は声門閉鎖音を表す記号です。この記号は、単独で書かれる場合と、◌ ◌ ◌ ◌ [アリフ・ワーウ・ヤー(点なし)] を支え(台)にして書かれる場合があります。

ء	أ	أ	ؤ	ئ
単独	アリフ	ワーウ	ヤー(点なし)	

ハムザには、常に声門閉鎖音が発音される「切るハムザ (ハムザトウルカウ)」と、別の語に後続すると声門閉鎖音が消える「結ぶハムザ (ハムザトウルスル)」があります。

①定冠詞 اَلْ [al]、②関係代名詞、③ 'i / 'u で始まる命令形、④第7～10形の完了形と動名詞、⑤8つの名詞(下記)における語頭のハムザが、結ぶハムザです。

⑤ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ اِسْمٌ
 息子 娘 男性 女性 2<男> 2<女> 名前 肛門
 ※ここでは、結ぶハムザのハムザ記号を省略する慣習にしががいます。

結ぶハムザは、文頭以外の場所では声門閉鎖音+母音が発音されません。このハムザの消失を表すため、アリフの上にはワスラ記号が書かれます(◌◌◌)。

例 اَلْكِتَابُ → وَالْكِتَابُ cf. اَسَدٌ → وَاَسَدٌ
 ʔal-kitābu wa-l-kitābu ʔasadun wa-ʔasadun

●月文字と太陽文字

アラビア文字は、月文字と太陽文字(文字表の*印)のいずれかに分けられます。太陽文字が定冠詞 اَلْ [al] に続く場合、定冠詞の [l] 音がその後続子音と同化し、同じ子音が連続します。また、太陽文字の上にシャッダを付けてこの発音を表します。

①月文字 اَلْقَمَرُ ②太陽文字 اَلشَّمْسُ ◌ (シャッダ記号)
 ʔal-qamaru ʔaš-šamsu (← ʔal-šamsu)